

BIG BEN

- p1 日本クラブ秋の活動
- p2 写真探訪 : Borough Market
- p3 領事便り : 英国内の相談先 (1)
- p4-5 短信 : 「日本庭園清掃作業」 他
- p6 会員アンケート結果報告
- p7 エッセー : 実りの秋
- p7 クリサンシمامム・カップ結果
- p8 クラブサロン、同好会案内

日本クラブ秋の活動

日本酒セミナーやジン蒸留所見学ツアー

10月に入り、会員が参加できるセミナーやツアーが人気を集めた。こういった行事は、会員同士の親睦を深めるため、また、英国のことをもっとよく知ってもらうため企画されたもので、参加した人から楽しかった、役に立ったという意見が聞かれた。

●日本酒セミナー (10月5日、26日)

イギリスは日本食ブームだが、それにつれて日本酒を飲む人も増えている。ところが日本人の中にも日本酒に対する知識が少なく、自宅やレストランでイギリス人を接待する際にどんな日本酒を出してよいのか分からないという人も多い。

日本クラブ会員サービス委員会ではそんな接待最前線にいる人たちのために、日本酒の基本的知識を分かりやすく解説する日本酒セミナーを開催した。講師には日本酒のプロモーションをしている酒サムライの吉武理恵さんを迎え、たくさんの種類の日本酒を試飲しながら日本酒の基礎知識を勉強した。

日本酒の作り方は複雑で、種類も多く、また、地域による違いや、各酒蔵によりネーミングも違うので、簡単には覚えられないが、それでもよく飲まれている純米酒、



純米吟醸酒、純米大吟醸酒の違いぐらいは理解しておきたいものだ。

吉武さんは外国人と飲む際には日本酒に対する誤解を是非解いて欲しいと言う。その誤解とは(1)酒は強すぎる、(2)熱燗にするもの、(3)寿司を食べるときに飲む、といったものだ。日本酒は蒸留酒と思っている人もいるが、酒はワインと同じ醸造酒でアルコール度は15～16%とワインとあまり変わらない。現代の酒は寒い時には熱燗で、暑い時には冷で飲むのが良い。また、吉武さんによれば、「酒は料理とぶつからない」と言われており、洋食も含めてどんな食事にも合うので、ぜひ自宅やレストランで接待する際には是非外国人にも日本酒を勧めて欲しいと訴えた。

●ジン蒸留所見学ツアー (10月15日)

日本クラブ日英交流促進委員会主催によるジン蒸留所見学バスツアーが10月15日(日)に開催された。朝8時



日本酒の講義をする吉武理恵さん

(2面へ続く)

にハマースミスを貸し切りバスで出発、ハンブシャーのウィットチャーチにあるボンベイ・サファイア・ジン蒸留所に向かった。

ジンはイングランドの伝統的なドリンクで歴史も長い。しかし、ジンは蒸留酒でアルコール度数も高く、18世紀にはジンブームが起り、アルコール中毒の人が増え社会問題となったこともある。

ボンベイ・サファイア蒸留所は創立が1959年という比較的新しい蒸留所であり、製紙工場だった現在の場所



ボンベイ・サファイア蒸留所にて

に移ったのは2010年、そして見学ツアーを受け入れたのはつい最近のことだ。

ジンはジュニパーという常緑針葉樹の実から採る油を香料としているが、ここではジュニパーだけでなくコリアンダー、アーモンド、リクリッシュ等10種類以上のボタニカルのエッセンスを混ぜて独特の香りをつけている。

見学ツアーでは参加者は各ボタニカルの匂いを嗅ぎ、気に入ったものをメモにして提出するとツアーの最後にその香りのするジンのカクテルを提供してもらえという趣向もあった。

蒸留所見学の後は近所のパブで昼食をとり、帰りがけにウィンチェスター大聖堂を見学してロンドンに戻った。



写真探訪 Around London

[Borough Market]



テムズ川のほとり、ロンドン・ブリッジの南詰めにある大きな食材マーケットである。今でも週日は午前2時から8時まで青果の競りが行われているが、それだけでなく一般向けの小売りマーケットにもなっている。小売りは水曜日から土曜日だが、ずらっと並んだストール（露店）には季節感のある新鮮な野菜や果物、チーズ、肉類、魚類、パンが並び、近所の人だけでなく、遠くから電車で買い物に来る人もいるほどの人気だ。ここを歩くとなんとなく築地の魚市場の場外売り場を思い出すが、実際の卸売り市場に隣接していることや新鮮さを誇っていることなど共通点も多い。最近では旅行者にも人気で、元気のいいマーケットを一目見ようと大勢の人が訪れるので、スナックバーやカフェも登場している。

(文・写真：加藤節雄)



英国内の相談先（その1）

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

日が暮れるのがずいぶん早くなりました。暗い夜道を歩く際は、ひったくりや強盗などに遭わないようお気をつけください。

大使館にはいろいろな相談事が連日舞い込みます。パスポートのこと、証明のこと、戸籍のこと、日本の選挙のことなどなど。これらのことは私どもの守備範囲のことですので、多くは皆様の意に沿うように、要望通りにいかない場合は代替案を出して、解決を見ることができます。しかし、守備範囲以外の相談、例えば英国の滞在許可・査証、税金、社会保障など英国の制度に関することや当地行政機関への苦情となると、知っている範囲で一般的なことは答えることができますが、個別具体的なケースについては残念ながら責任をもってお答えすることができません。そんな場合に皆様にご案内する英国の担当機関並びにお役に立つウェブサイトをご紹介いたします。これら相談先は、大使館のホームページにも掲載されておりますので、住所、電話番号、サイトのアドレス等は、大使館ホームページから入手してください。

もちろん、最初に日本語で概要だけでも知りたいと希望される方、どこに相談して良いかわからない方はご遠慮なく大使館にご相談ください。

今月号では、滞在許可・査証、税金、社会保障など英国の制度に関する相談先を掲載します。

【滞在許可・査証に関する相談】

1 これから英国に滞在する場合

- ・ 駐日英国大使館
- ・ VFS GLOBAL
- ・ 内務省 (Home Office)

2 既に英国に滞在している場合

- ・ 内務省 (Home Office)
- ・ Immigration Adviser
- ・ 弁護士

3 英国から海外旅行をする場合

- ・ 英国にある渡航先国の大使館又は総領事館

【税金に関する相談】

1 カウンシルタックス控除などについての相談

- ・ 居住地のカウンシル
- ・ GOV.UK (Council Tax)
- ・ Shelter

2 関税 (Customs)、物品税 (Excise Duty) についての相談

- ・ HM Revenue & Customs

3 付加価値税 (VAT) についての相談

- ・ HM Revenue & Customs

4 所得税についての情報

- ・ HM Revenue & Customs

5 帰国時のTax Return に関するお問い合わせ

- ・ HM Revenue & Customs

【社会保障に関する相談】

1 National Insurance Contributions

- (ナショナル・インシュランス) についての相談
- ・ HM Revenue & Customs

2 Benefit (社会福祉) についての相談

- ・ GOV.UK (Register a birth)

3 英国の年金制度に関する相談

- ・ GOV.UK (State Pension)
- ・ The Pensions Advisory Service (TPAS)

【婚姻・出生・死亡に関する問い合わせ】

まずは、居住地のカウンシルにご連絡ください。

1 英国の婚姻手続き

- ・ GOV.UK (Marriages and civil partnerships in the UK)

2 出産後の英国側への手続き

- ・ GOV.UK (Register a birth)

3 死亡についての英国側への手続き

- ・ GOV.UK (Death and bereavement)

【離婚に関する問い合わせ】

英国法に基づく離婚手続き

- ・ GOV.UK (Get a divorce)

(次号に続く)

短 信

COMMUNITY PLAZA



①



②



③



ジョイ・ヘンドリー博士 叙勲

オックスフォード・ブルックス大学名誉教授のジョイ・ヘンドリー博士 (Dr. Joy Hendry) が平成 29 年春の叙勲で旭日小綬章を受章した。博士は過去 40 年以上にわたり人類学の分野で日本の研究に尽くし、特に日本人の持つ家族、結婚、教育、礼儀、文化嗜好に対する意識や傾向を人類学者として公平に分析し、英国における日本学の向上に人類学の立場から貢献したことが認められたもの。博士は現職の他、英国日本学協会会長、欧州日本学協会副会長等も

歴任した。叙勲伝達式は 7 月 26 日 (水) ロンドンの日本大使館で行われた。(写真①日本大使館提供)



マーク・ウィリアムズ 博士表彰

リーズ大学教授のマーク・ウィリアムズ博士 (Professor Mark Williams) が平成 29 年度外務大臣表彰を受けた。ウィリアムズ教授は 1979 年から 1981 年まで現在の JET プログラムの前身の BET スキームで群馬県に滞在、帰国後 1990 年にリーズ大学で日本学研究学部創設に寄与した。教授は日本の作家遠藤周作の研究でよく知られ、講演会やメデ

アへの寄稿を通して日本の紹介を積極的にしている。今年の 9 月から東京の国際基督教大学の副学長を務めている。表彰式は 8 月 3 日 (水) にロンドンの日本大使公邸で行われた。(写真②日本大使館提供)



JET 帰国者歓迎 パーティー

英語教師助手をしたり、地方の国際交流事業の手伝いをしてもらう JET (Japan Exchange & Teaching) プログラムで日本各地に滞在し、帰国した人の歓迎会が 10 月 6 日 (金) ロンドンのアジアハウスで開かれた。今年の JET 帰国者は約 86 名いる。

ジャパン祭り 9 月 24 日 (日)

今年第 9 回目を迎えたジャパン祭り (英国日本人会、日本クラブ等共催) は天候に恵まれた 9 月 24 日 (日) 昨年と同じトラファルガー広場で開催された。鶴岡大使をはじめ多くのゲストによる鏡割りの儀式の後、ステージでは和太鼓演奏、日本クラブ・グリーンコーラス演奏会、

幼稚園児による沖縄エイサー等が披露され、たくさん並んだ日本食の露店には大変な人混みが出来た。また、武道ステージでは合気道や剣道、弓道といった日本の伝統武道の実演があり、その他、折り紙や書道のデモンストレーションも行われた。(写真提供：日本クラブ・川上真)



短 信

COMMUNITY PLAZA



歓迎パーティーでは主催者の自治体国際化協会ロンドン事務所の黒野嘉之所長、日本大使館の飯田慎一公使、JET 同窓会 (JETAA) のセラ・パーソンズ会長等が歓迎の挨拶をした。会場には日本人コミュニティの代表も招かれ、日本酒を飲みながら歓談した。JET プログラムは今年で 31 年目、すでに英国から 1 万人以上が派遣されている。(写真③④、④は挨拶をする黒野所長)

英国会議事堂で 福島酒フェア

日本の酒処・福島県は全国でも優秀な日本酒を製造することで知られて

いるが、今年も日本全国新酒鑑評会で 5 年連続金賞の数が一番多いという栄誉を受けた。これを祝って 2011 年の東日本大震災以来、福島の復興に支援と援助を与えている英議会の日英議員連盟ロジャー・ゴドシフ会長が 10 月 17 日 (火) 英議会内のジュビリー・ルームで、「福島の酒テイスティング&レセプション」を開催した。今回は福島から 6 軒の蔵元が参加して「5 年連続日本一」を祝った。(写真⑤)

また、翌日の 18 日 (水) には、日本大使館ボールルームで、福島の酒を紹介する「福島酒セミナー」が開催された。

ワイナリー見学ツアー

日本クラブ日英交流促進委員会が企画するワイナリー見学バスツアーが今年も 9 月 30 日 (日) サリーのドーキングにあるデンビーズ・ワイン・エステート (Denbies Wine Estate) で開催された。今年で 3 年目になる見学バスツアーは毎年好評で、醸造所内でワインの作り方の説明を受けた後、ミニ・トレインで広大なブドウ畑を回るといもので、世界のワインコンテストで金賞を受賞しているスパークリング・ワインも試飲させてもらえる豪華なもので参加者は大いに楽しんだ。(写真⑥)

日本庭園清掃作業 10 月 8 日 (日)

恒例となったハマースミス公園日本庭園の清掃作業が好天に恵まれた 10 月 8 日 (日) に行われた。今年には日本クラブから 34 人のボランティアが参加、池に入って藻の除去をしたり、竹藪や柳の木の剪定をした。今年も日本大使館からは宇山総領事が家族連れで参加

したほか、飯田公使も作業を行った。日本クラブ提供の日本食弁当ランチタイムには、ハマースミス&フラム区のマイケル・カートライト区長と飯田公使からねぎらいの言葉を頂いた。ボランティアの皆様、お疲れ様でした。

(写真：加藤節雄)



日本クラブ会員アンケート結果

会員サービス委員会が7月に実施した会員アンケートの結果がまとまった。この調査はクラブが提供する「サロン」「広報」「医療」等のサービスについて、認知度、利用実態及び会員の意向を調査したもので2012年以來5年ぶりだった。

今回の調査はウェブアクセスによる無記名回答方式で実施され、前回より回答率は低かったが、各設問への無回答率が低く、有意義な回答を得ることができた。(表参照)

以下は前回調査と比べての主な調査結果。

	会員数	回答数	回答率
法人会員 (含駐在員)	1,845	231	13%
永住会員 (含 60 歳以上)	411	89	22%
一般会員	83	7	8%
学生	0	0	
合計	2,339	327	14%

「サロン」

○サロンを知らなかったと回答した法人会員は35% (前回37%) で、わずかではあるが減少した。しかし、サロンの認知度が高い永住者も含めると、全体ではサロンを知らない人は28% (前回35%) だった。

○サロン設備とイベントの満足度はやや改善したが、語学教室、会員主催の講座の評価は下がった。

○サロンを利用しない理由としては前回同様「利用したいサービスがない」と回答した人が約2割あった。また、場所が不便と答えた人は前回調査(現場所への移転前)の9%から25%に増加した。

※サロンの認知度は改善した。

※健康診断の利用者は減少気味。



クラブサロンでのセミナー風景

「広報」

○広報誌を知らない法人会員は前回の12%から7%に減少した。

○広報誌を活用していない回答者は16% (前回19%) に減少した。

○広報誌の内容に対する満足度が改善した一方、ホームページの満足度は低下した。

※広報誌「びっぐべん」の認知度は高い。

「医療」

○外来、健康診断の利用率とも、前回の南北診療所を合わせた数字よりも減少した。特に健康診断は全体で41%から26%に、法人会員では43%から33%に減少した。

○利用している世帯構成員は配偶者が前回から減少したが、本人は前回同様6割弱だった。

○外来の満足度が低下し、通訳の廃止についての不満の声があった。

○永住者より料金についての不満の声があった。

○「利用する」理由として、前回最も多かった「場所」が減少し(南診療所廃止の影響と思われる)、また、逆に職員の対応、支払いに関する満足度は改善した。

○「利用しない」理由としては「他の日系医療機関の利用」が邦人会員で26%から31%に増加した。

○NHS/GPの利用者は全体では7%から20%に増加したが法人会員では5%から6%への微増だった。

※健康診断の利用者は減少気味。



日本クラブ診療所

「その他」

○日本クラブへの入会の理由として法人会員の18%が「講座・教室、イベントなどに参加するため」を選択し、前回の5%から著しく増加した。



実りの秋

暑い夏を日本で過ごしてイギリスに戻ってみると、庭の果樹がたわわに実をつけて待っていました。待ちきれずに、プラムはほとんど鳥に恵みを分かちていましたが、イチジク、梨、パッションフルーツ、ブラックベリーなどの自然の恩恵を味わうことができました。毎朝、それらを少しずつ収穫して台所に集めると、イタリアの画家アルチンボルドのように何かしらをアレンジして、飾りたくなってしまいます。

イギリス各地では夏から秋にかけて、我が家の比ではなく、大々的な収穫祭や農業ショーが行われます。シンデレラの乗ったカボチャの馬車かと思いがうような大きさのカボチャが展示されて、形状、重さなどにより賞が贈られ、人だかりができます。丹精して育てた作物が認められ、栽培した人も誇らしそうです。様々な種類のチーズの味見をすれば、知識も増えて味も楽しめ、一石二鳥です。

これらは田舎のアウトドアで行われますが、最近は屋内のフード・ショーの方が人気が高いかもしれません。有名なシェフが新鮮な食材を使って、簡単なあるいは斬新な料理の作り方をデモンストレーションしてくれます。このようなおしゃれなショーの場合には、テーブル・コーディネイトのブースや便利な調理用具のブース

などもあり、つい購入してしまいがちです。

より伝統的なのは、教会や学校で行われる収穫を感謝する儀式です。果物や野菜などが祭壇に飾られ、感謝礼拝の後は近所の施設などに配られます。そのため、フレッシュな野菜や果物だけでなく、缶詰やパスタなどの乾物も集められます。

以前は実りの秋の行事だったものが、最近ではフードバンクなどのように1年を通しての活動となったのは、世の中が進化したのでしょうか、それとも後退したのでしょうか。また近頃、日英ともフード・ウェイスト（廃棄）を減らす活動が盛んになっているのは、喜ばしいことです。食料品の値上がりを実感するイギリスの台所事情が、無駄を減らし、節約する追い風になっています。スーパーの値下げコーナーでイギリス人と鉢合わせした時、「私達、賢い消費者よね」と声をかけられ、なるほどそう思えばよいのかと励まされました。

2017年日本クラブ総会のお知らせ

日時：12月7日(木) 16:00

会場：日本クラブ大会議室

総会の詳細はメール配信にてお知らせします。
出欠は専用サイトにてご確認くださいませますので、
よろしく願います。(事務局)

クリサンシマム・カップ 日本クラブチームが雪辱



鶴岡大使とボブ・エリスさんの両キャプテン

ライダーカップより長い歴史を持つ日本クラブとメイドンヘッド・ゴルフクラブとの対抗戦クリサンシマム・カップ（1924年創設）が、今年も10月1日（日）にメイドンヘッドGCで行われた。当日は雨が心配されたが、降られることもなく、和気あいあいとした雰囲気の中で戦われた。

試合は日英2人ずつ6組で行われたが、結果は4-2で日本側が勝利して昨年の雪辱を果たした。昨年はそれまで2年間カップを維持してきたものの、日本クラブはメイドンヘッド側に敗れた。今年は昨年に引き続き鶴岡大使をキャプテンに大いに健闘、特に大使のパットが絶好調で勝利に貢献した。

試合後のディナーでは日英両チームのキャプテンが挨拶、終始和やかな日英親善ゴルフ大会となった。

日本クラブ理事の交代

- ◆副会長：鈴木英樹氏から久保田圭二氏へ（ともに日本郵船）
- ◆副会長：在原淳一氏から柳沢志向氏へ（ともに大和証券）

コーヒー・マシン

日本クラブ・サロンにはコーヒーマシンが設置されており、コーヒーをはじめ紅茶、日本茶、チョコレート等が用意されています。外部のコーヒーショップより格安に設定されていますのでご利用ください。（カプチーノ£1.20、その他£1）

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023（西川）
charles.nishikawa@btinternet.com
随時入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(<http://ycbc.co.uk/>)
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com（榎枝）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：mail@tokukojay.demon.co.uk
（大谷トク子）

日本クラブ囲碁会

- ◆例会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆会場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な距離にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ (www.nipponclub.co.uk) の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- *建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- *閉館時間以外はシャッターが降りていて入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street
Southwark, London SE1 0NZ

TEL : 020-7921-9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜：午前10時～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動(5年生以上)
- 通学バス利用可



ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部
（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業300社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科
小児科
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行
保険で
キャッシュ
レス

www.nipponclub.co.uk/clinic

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)

60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121

(要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療)